月刊みんぱく 2017 3月号

編集後記

貴金属はもとより装飾品に興味がないため、ビーズに触ったのは、小学校低学年くらいが最後かもしれない。そのためビーズというと、子ども（とくに女の子）のおもちゃという印象しかなかった。本号のビーズ特集はそうした小生の長年にわたる偏った思い込みを正してくれた。特集をとおして読んで驚かされるのは、細工の精巧さと地域ごとのビーズの素材と使用法の多様性である。かつての恋人からもらったビーズ細工を結婚後も誇らしく首に飾るご婦人の心境というのは、まだまだ尻の青い小生にはなかなかにはかりがたい。またそうしたさまざまな違いがあるにもかかわらず、ビーズが交換財として幅広く使用されているという事実は、まことに興味深い。

まもなく開催される開館40周年記念特別展「ビーズ――つなぐ・かざる・みせる」をみながら、これまで知らなかったビーズの魅力を学びつつ、人類における位置づけを考えてみたい。

なお本号で執筆して頂いた須藤健一館長と塚田誠之教授は、この3月をもって退職となる。みんぱくのスタッフも時とともに変わってゆくが、『月刊みんぱく』は、みんぱくと人とをつなぐ媒体としてあり続けたいと思う。（丹羽典生）

●表紙：巨大な首飾りを誇らしげに身につけるサンブルの娘。ガラスビーズ製の首飾りは 16 キロもある。　ケニア　撮影・中村香子

次号の予告

特集

新館長就任インタビュー

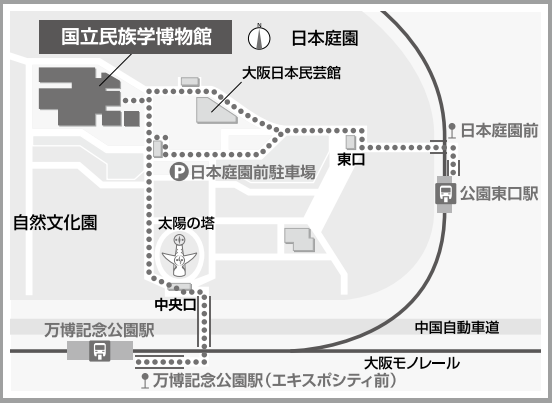
月刊みんぱく 2017 年 3 月号

第 41 巻第 3 号通巻第 474 号　2017 年 3 月 1 日発行

編集・発行　人間文化研究機構 国立民族学博物館
〒 565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1
電話　06-6876-2151

発行人　池谷和信
編集委員　丹羽典生（編集長）　河合洋尚　菅瀬晶子　南真木人　山中由里子　吉岡乾
デザイン　宮谷一款　長岡綾子
制作・協力　一般財団法人 千里文化財団
印刷　能登印刷株式会社

＊本誌についてのお問い合わせは国立民族学博物館広報係にお願いします。
＊本誌掲載記事の無断転載を禁じます。



交通案内
- ●大阪モノレール「万博記念公園駅」・「公園東口駅」下車、徒歩約15分。
- ●阪急茨木市駅・ＪＲ茨木駅から近鉄バスで「万博記念公園駅（エキスポシティ前）」「日本庭園前」下車、徒歩約13分。
- ●乗用車は、公園内の「日本庭園前駐車場」（有料）から徒歩約5分。「日本庭園前ゲート」横にある民博専用通行口をお通りください。
- ●タクシーは、万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れできます。

みんぱくホームページ
http://www.minpaku.ac.jp/
みんぱくフェイスブック
https://www.facebook.com/MINPAKU.official/
みんぱくツイッター
https://twitter.com/MINPAKUofficial

国立民族学博物館
National Museum of Ethnology